

あしかがじんじや 赤鹿神社

八代の御茶屋屋敷にまつられていた稲荷神社を地元の赤鹿氏にちなんで赤鹿神社とよんでいました。姫路城の殿さまとなる池田家が国替えて姫路にやってきた時に城内に移され、その後、今の場所に移されました。戦前は米の取引所が近くにあって、地元の有力者が多くおまいりし、玉垣にその名前などが残っています。



行った日



いたてひょうずじんじや 射楯兵主神社 (播磨国総社)

飾磨郡伊和里にまつられた兵主大神(大国主命)を、天平宝字8年(746)に水尾山におまつりしたのが始まりです。延暦6年(787)、今の姫路医療センター付近に移しておまつりしました。後に因達里にまつられていた射楯大神(五十猛命)を移し、あわせておまつりして射楯兵主神社となりました。



行った日



きって もめんかいしよあと 切手・木綿会所跡

江戸時代の終わりごろ、酒井家の家老だった河合道臣(寸翁)は、藩の財政をよくするため、文政3年(1820)、切手会所を建てて銀札・銭札を発行しました。次の年には国産木綿会所も建て、木綿の取引を藩が独占し、切手会所は木綿を担保に木綿切手を発行しました。



行った日



しもつきさい 霜月祭

播磨国総社の大きなお祭りです。安徳天皇時代の養和元年(1181)11月15日に播磨国の16の村の大小あわせて174の神さまをあわせておまつりして播磨国総社ができました。この日を祝って行われているお祭りです。



行った日



しんめいじんじや 神明神社

摂津国(大阪府のあたり)の玉造という場所から、天正年間(1573~92)に移されました。まつられているのは天照大神です。戦前は、大阪の堂島天神祭にならって、7月25日に例祭が行われました。



行った日



城巽地区

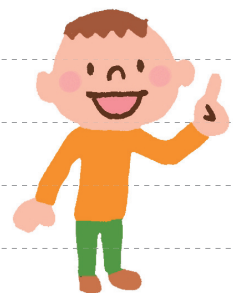
③ 城巽地区



江戸時代、今の大きな姫路城をつくらせた池田輝政という殿さまがおこなった「町割り」の時から町名がたくさん残っています。どんな名前があるのか調べてみましょう。



調べたこと、分かったことを書いてみよう!



- 遺跡・史跡
- 神社・仏閣
- 歴史上の人物など
- 祭り
- 美術品
- 伝統芸能など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- その他



0m 250m 500m

ぜんどうじ 善導寺

寛仁元年(1017)善忍阿闍梨が開いたお寺で、もとは今の姫路東高校のあたりにありました。池田輝政の「町割り」により今の場所に移りました。勤王の志士、河合惣兵衛と伝十郎親子のお墓があります。平成16年(2004)に新しい顕彰碑が建てられました。およしギツネの伝説も伝わっています。



行った日



ちのいけあとのひ 血乃池跡碑

大永元年(1521)7月、赤松義村によって行われた修羅踊りだけがする人がたくさん出て、この池の水で洗えば血が止まったとか。また、戦いの後、この池で武器やよろいについた血を洗い、修羅踊りで戦いに勝ったことを祝ったとも伝えられています。



行った日



ばんねんじ 幡念寺

三河国吉田(今の愛知県豊橋市)にあった悟真寺の寂誉和尚が開いたお寺といわれています。浄土宗のお寺です。池田輝政の「町割り」により、今の場所に建てられました。境内には延命地藏があり、飢饉(農作物が実らず食べ物不足して人々が飢え苦しむこと)の時に人々に餅を与えたので、餅売り地藏と敬われました。



行った日



ほんまち いせき 本町遺跡

姫路郵便局のまわりでは、昭和56年(1981)の発掘調査によって、昔の播磨国の役所のかつら たてもの へい いこう が見つかりました。このあたりに播磨国の役所があったと考えられています。



行った日



もとていしんしやうひめじ でんしんきょく 元逋信省姫路電信局

姫路市内に電話がつながったのは明治40年(1907)ごろです。そのころ電話を使う契約をしていたのは381件で、電話局では磁石式交換機が使われていました。共電式交換方式に変わったのが昭和5年(1930)で、この建物はそのころ建設されたと考えられています。市の都市景観重要建築物等に指定されています。



行った日

